

11. 「未来志向研究プロジェクト」について

近年わが国の高齢者をめぐる環境は大きく変化してきており、介護・自立支援についても時代の推移に即応した取り組みが重要となっている。このため、10年後の高齢者介護の姿を念頭に置き、それに向けて「架け橋」となるような未来志向の施策展開を行っていくことが求められている。

本プロジェクトは、そうした趣旨に沿っていると考えられる現場レベルでの種々の調査研究や試行的取り組みを推進し、もって介護・自立支援システムの確立に資することを目的に平成15年度より実施しているところである。

〔平成15年度の実施状況〕

平成15年 9月 8日 「未来志向研究プロジェクト」募集
(全国介護保険担当課長会議にて)

11月25日 20事業を採択・内示

〈内 訳〉

- 1 介護予防の推進に関するもの(5件)
- 2 痴呆性高齢者ケアの充実にに関するもの(3件)
- 3 在宅ケア体制の確立に関するもの(3件)
- 4 在宅と施設の連携に関するもの(2件)
- 5 高齢者ケアと障害者ケアの連携に関するもの(4件)
- 6 高齢者虐待防止・権利擁護に関するもの(3件)

12月25日 「第1回未来志向研究プロジェクト推進委員会」
開催(事業実施団体の事業概要説明等)

〔今後の予定〕

2月～3月 事業実施状況の現地調査

4月下旬 第2回推進委員会開催(事業への評価発表)

なお、平成16年度においても引続き本プロジェクトを実施することとしており、その内容は次のとおりである。

- ① 補助事業名
老人保健健康増進等事業(平成16年度)

② 補助対象者
地方公共団体及び調査研究等を行う公益的法人

③ 推進委員会について
・「未来志向研究プロジェクト推進委員会」により、採択事業について現地調査を含め、ヒアリングを行うことにより、総合的に評価するとともに、その結果を公表する。
・推進委員会委員（別紙参照）。

④ 調査研究期間
平成16年4月～17年3月。
ただし、事業実施結果によって、特に重要と評価したものについては、平成17年度への継続を検討（平成15年度事業を除く）。

※ 平成16年度の研究プロジェクトの規模、対象事業種類等、その詳細については、検討中であることから、本年2月に開催予定の「全国高齢者保健福祉・介護保険関係主管課長会議」においてお示しする。

未来志向研究プロジェクト推進委員会

- 委員長 井形 昭弘（名古屋学芸大学学長）
- 委員 池田 省三（龍谷大学教授）
- 今井 幸充（日本社会事業大学教授）
- 大森 彌（千葉大学教授）
- 京極 高宣（日本社会事業大学学長）
- 佐藤 進（埼玉県立大学教授）
- 菅原 弘子（地域ケア政策ネットワーク事務局長）
- 高橋 紘士（立教大学教授）
- 田中 滋（慶応義塾大学教授）
- 辻 一郎（東北大学教授）
- 橋本 泰子（大正大学教授）
- 花井 圭子（日本労働組合総連合会 総合政策局生活福祉局次長）
- 久常 節子（慶応義塾大学教授）
- 村田 幸子（ジャーナリスト）
- 山口 昇（公立みつぎ総合病院管理者）